

報道機関各位

令和7年 7 月 31 日

劇作家・演出家が講師の職員研修 「～市民対応にも、職場の人間関係にも 生きる!～コミュニケーションのヒントを 発見する体験型 WS」を実施します

市では、市民対応に活かすとともに、同僚との関係づくりや後輩とのやりとりなどの職場内の空気をやわらかくするヒントを得てもらうことを目的に、劇作家・演出家の越智良江さんを講師に招き、コミュニケーションのヒントを発見する職員研修を行います。FSXホール(市民芸術小ホール)の舞台上、普段の研修とは異なり、演劇的な手法で行います。

このことについて広く周知したく、ぜひ、貴媒体での取材・掲載方、お願いいたします。

概要

- 内容 ・「伝えたはずなのに」「伝わっていると思っていた」を客観視・体感する
・イラストから Why・Who・What などを抽出し、その背景を考えてみる
・セリフペーパーを用い、セリフにない余白をキャッチし、繋げる体験
など(予定)

■日時 8月8日(金)午後3時～5時

■場所 FSXホール(市民芸術小ホール) ホール
(国立市富士見台 2-48-1)

■講師 越智 良江氏(劇作家・演出家、演劇ユニット KOKOO主宰)

■備考 詳細は、添付資料をご覧ください。

問い合わせ国立市 教育委員会 教育部 生涯学習課 社会教育・文化芸術係
TEL042-576-2111 内線(320)

各部・課長 殿

行政管理部長 黒澤 重徳
(公印省略)

「～市民対応にも、職場の人間関係にも活きる!～」

コミュニケーションのヒントを発見する体験型 WS」研修の実施について（通知）

市役所は「まちの声」が集まる場所。年齢も立場も価値観も異なる多くの方と日々向き合うなかで、「伝えたいつもり」が、相手に伝わっていない。「聞いたはずなのに」、すれ違いが起きてしまう。そんな小さなコミュニケーションのギャップ、感じたことはありませんか？

そんな“モヤモヤ”に気づくきっかけになるかもしれないワークショップを実施します！

このワークショップでは、参加者同士で体を動かす簡単なゲームやワークを行いながら、ふだんの仕事の中では意識しづらい「伝える・聞く・感じる」ことへの気づきや工夫に触れていきます。

市民対応に活かしたり、同僚との関係づくりや後輩とのやりとりなどの職場内の空気をやわらかくするヒントを得られたりするかもしれません。日常の中で使える“ちょっとしたコツ”を、楽しみながら発見してみませんか？

ここ数年入職した職員から、日々調整を行っている部課長まで、誰でも参加できます。

下記の通り研修を実施しますので、貴部・課職員に周知いただき、少しでも興味のある方は是非ご参加ください！

記

- 1 日 時
令和7年8月8日（金）午後3時～5時
- 2 場 所
FSXホール（市民芸術小ホール）ホール
- 3 内 容
上記説明文参照
- 4 講 師
越智 良江
（劇作家・演出家、演劇ユニット KOKOO主宰）

伝わらないのは、伝え方のせい？それとも聞き方？
このワークショップでは、演劇的な手法を用いて、
人との“やりとり”を楽しく・やわらかく見つめ直
します。むずかしくありません。頭ではなく、カラ
ダで学ぶ120分。かなり楽しく、ちょっとやさしい
時間です。

- 5 対 象
希望者（正職員） ※定員30名（申込先着順）
- 6 申 込
所属長に了解を得た上で、生涯学習課宛メール又は電話にて下記担当までお申し込みください。
申し込みの際、所属部署、名前、年代（例：40代）をお伝えください。
- 7 注意事項
①動きにくい服装は避けてください。（スカート・ヒール不可）
②参加者は水分を持参してください。
③本研修はマスコミ各社に情報提供しますので、取材が入る可能性があります。
- 8 申込先・問合せ
教育委員会教育部生涯学習課社会教育・文化芸術係 楠本・井田（内線323）

課内で供覧願います。

以 上